

地域生活文化領域（生活科学）

● 中村恵子研究室

私の研究室では、調理・加工過程における食品の変化やおいしさの知覚について科学的に研究しています。また、食に関する教育について調査・分析・考察します。

【過去の大学院生の研究紹介】

1. 学校の食育を通じた箸の指導

(H27年度修士論文)

小学生の箸の持ち方の現状について調査し、伝統的な箸の持ち方を集団で指導する方法を開発しました。給食指導で実践しその効果を検証しました。学校給食におけるメニューと食具との関係についても調査・検討しました。

井間眞理子・中村恵子：学級における箸の持ち方の指導とその効果、日本食育学会誌、第13巻、第1号、p.33-42（2019）

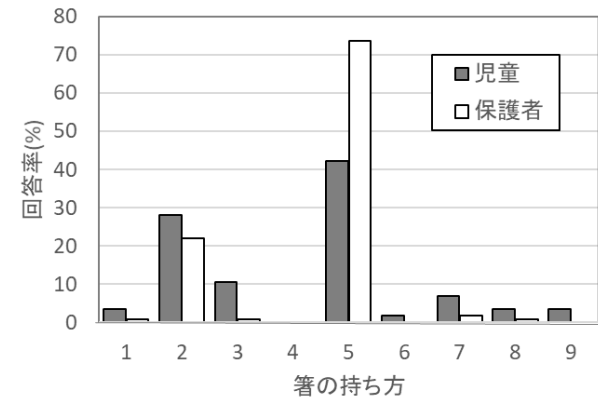


図 児童及び保護者の箸の持ち方

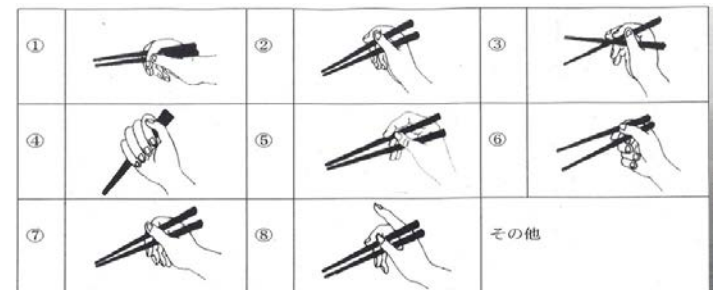


図 箸の持ち方の種類

2. 学校の食育を通じた「郷土愛」の指導～聞き書き調査と総合的な学習の時間における実践～ (H27年度修士論文)

福島県飯舘村の方から食の聞き書き調査を行い、村での暮らしと食との関係から「郷土愛」について考察しました。また、飯舘村の高齢者を講師に小学校の総合的な学習の時間でみそ造りの実践を行い、「郷土愛」を育む授業について検討しました。



旗野梨恵子・中村恵子：昭和から平成にかけての飯舘村の家庭料理と村の生活について、福島大学地域創造、第30巻、第1号、p.97-103(2018)

旗野梨恵子「までえな食づくり」福島民報社

3. 地域に根ざした伝統料理の再構築と伝承について (R3年度入学)

福島県の大学生に対して、郷土料理に対するイメージ調査を行った結果、郷土料理には親近感を持ち、郷愁的で高級感を感じにくく、面倒で作りにくいという料理作りの抵抗感を感じていました。しかし、「日本の食文化である郷土料理を大切に守りながら次世代へ継承するべき」という意識を持っていました。今後は、伝承のためのレシピ開発を行う予定です。

• 千葉養伍研究室

私の研究室では、食品の糖質構造解析及びそれに関連した酵素についての実験研究を行っています。

【過去の大学院生の修士論文】

アケビ果皮中に存在するオリゴ糖の構造解析 (H21年度修士論文)

アケビ果皮中に含まれる二糖類の構造解析を行い、既知の三糖、四糖との関係を明らかにしました。また、アケビ果実の各生育段階でそれらの含有比率が変化することを示し、生育に伴う果皮構成多糖の構造変化との関連が示唆されました。



● 千葉桂子研究室

私の研究室では、被服の適合性に関して、被服設計の立場から着用性能について検討しています。また衣服と人間のかかわりについても、時代の背景や気候風土と関連させて検討します。

【過去の大学院生の修士論文】

小袖における文字文様の意味に関する研究：小袖雛形本を資料として

(H22年度修士論文)

和服の原形である小袖は平安時代に出現し江戸時代に現在とほぼ同じ形態になったといわれ、時代ごとにその形態や意匠に流行があったことが知られています。特に文様として文字が配された江戸時代の文字文様小袖に注目し、その特徴や流行・衰退の時期について検討しました。

また、文様に表された文字が源氏物語や伊勢物語の一説や、絵文様とともに当時流行した判じ物の一部を示している例が複数あることを明らかにすることができました。



『源氏ひなかた』より

福島市山口の文知摺観音に関連のある文字文様の例

「陸奥の しのぶもぢずり 誰ゆゑに 乱れそめにし
われならなくに」 (源 融)

● 角間陽子研究室

私の研究室では、生涯を見通した主体的な生活者を育成する家庭科教育の研究をしています。また、生活の自立と共同・共生の理論に基づく生活経営分野の学習内容や教材、評価についての研究を行っています。

【過去の大学院生の研究紹介】

中学校家庭科における家族関係の学習指導・評価に関する研究 (H27年度教職教育実践専攻カリキュラム開発領域修士論文)

中学校家庭科におけるこれまでの家族関係の学習指導について整理し、中学生の実態を把握するアンケート調査を行いました。家族関係の学習内容として取り上げるコミュニケーションスキル、評価についての理論研究を行い、習得した知識や技能を生活で活用する力を評価するためのパフォーマンス課題、学習指導案及び教材、ルーブリックを作成し、3年生を対象にした実践を通して有効性を検討しました。

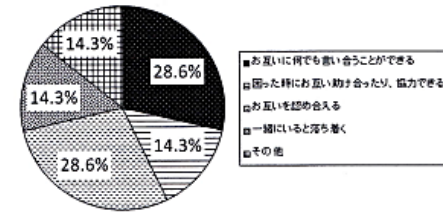


図9 生徒が考える家族とのよい関係

表2 予備的ルーブリック

評価の観点	生活のある場面において、自分の意見を伝えながら相手の気持ちにも配慮する言葉とその言葉に一致した態度を考えることができる。【生活の技能】		
	A	B	C
評価	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝えるために必要な情報を言葉にして表現している。 相手の気持ちに配慮するために具体的な言葉を使って表現している。 言葉と態度が一致している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝える言葉と相手の気持ちに配慮する言葉の両方が表現されている。 言葉と態度が一致している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝える言葉もしくは相手の気持ちに配慮する言葉の一方が表現されている。 言葉と態度が一致していない。
		<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝える言葉と相手の気持ちに配慮する言葉の両方が表現されている。 言葉と態度が一致していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝える言葉もしくは相手の気持ちに配慮する言葉の一方が表現されている。 言葉と態度が一致している。

伊澤奏絵・角間陽子：家族関係の学習における生徒の主体意識を高める指導の在り方，東北家庭科教育研究，第14号，1-7（2015）
伊澤奏絵・角間陽子：中学校家庭科における家族関係の学習指導・評価に関する研究，東北家庭科教育研究，第15号，15-21（2016）